

## 研究発表会のご案内

### 研究主題

子どもたちが夢中になって遊ぶ保育を創る  
～「やってみたい！」から「もっとおもしろく！」につながる  
教師の援助や環境構成について考える～

1. 日 時 令和3年1月28日（木） 12時30分～17時  
(受付 12時15分～12時30分)

2. 場 所 京都市立翔鸞幼稚園  
京都市上京区御前通り今出川上ル鳥居前町671

### 3. 研究会の流れ

	12:15	12:30	14:00	14:45	15:30	16:30	17:00
受付	研究保育 3歳児（ひかり組） 4歳児（にじ組） 5歳児（そら組）	休憩 昼食	研究発表会		学年別 グループ協議	○指導助言 京都市教育委員会 学校指導課首席指導主事 高橋 由記子 ○園長挨拶	

### 4. その他

- ・受付で検温と手指のアルコール消毒をお願いいたします。
- ・マスクの着用をお願いいたします。
- ・飲み物、スリッパ等のご持参をお願いいたします。
- ・研究発表会の参加人数を30人とさせていただきます。申し込みは貼付の申込書をFAX(075-462-5321)またはメール(mi281-iwasa@edu.city.kyoto.jp)でお願いいたします。宛先は京都市立翔鸞幼稚園 教頭 平松まで
- ・駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

\* 当日は別紙（健康状態確認書）にご記入いただき、受付で提出してください。



# 翔鸞幼稚園の主体的で対話的で深い学びのミニエピソード

主体的ってどんな姿？ 幼児の対話とは？ 深い学びとは・・・？ エピソードをもとに園内研究主題を通して？にせまり、教師の援助や環境構成について考えていきます！

3歳児

「おばけの研究??」 R2. 12/10



園内の色々な場所でおばけを探すことが大好きな子ども達。2階の壁には不思議な光のおばけを無数に見つけて大興奮！園庭で遊んでいる友達に、A児「おーい！2階にキラキラおばけがいっぱいいるよ！お庭はどう？」とたずねると、B児「お庭にもいっぱいいるよ！さっき、砂の中にもぐっていった！」とのこと。早速、「探してみよう！」と砂を掘っていくと色々な形や色の小石を発見！「見つけた！」と言って、カップの中に集め始めました。すると、集めたおばけ（小石）を持って5歳児の部屋へ。「これ、研究してほしいの」と、おばけ入りのカップをC児（5歳児）に渡すとC児「うわあ、いっぱいおばけ見つけたね。今から研究してあげる！」と言って早速、電子顕微鏡で見てくれました。画面に映し出される拡大された“おばけ”を見て「うわあ！お肉みたい！お肉おばけや」と大はしゃぎの子ども達でした。

自分が感じたことや、人に伝えたいことを自分なりの言葉で自由に表現しながら遊び、人に伝えることでやってみたい事が実現し、人と関わることでもっとおもしろくなっていく姿は主体的で対話的な姿につながると感じました。教師は偶然の事象（光や影等）を見逃さずに遊びの中に取り入れたり、子ども達のやってみたいことがどのような過程で実現していくのかを見守ったりする援助の大切さを感じました。

4歳児

「ソリをつくろう」 R2. 12/15



クリスマスが近づき、サンタクロースやトナカイになってプレゼントを配ることを楽しんでいます。「サンタさんが乗るソリをつくりたい」とA児とB児。「どうやってつくる？」と言うと、「長四角の段ボールがいる」とA児。段ボールを出し、乗って段ボールを引っ張ってみますが破れてしまいました。「テープで強くしよう」「前に紐付けよう」と2人。2人で破れた部分を修理し、ガムテープで紐をつけ、乗ってみました。トナカイさんが紐を引っ張ると、今度は紐が取れてしまいました。「どうしよう…」と言うと、「穴あけて通すのはどう？」「通して結ぶのは？」と新しい考えが出てきました。目打ちで穴をあけ、紐を通して結ぶと、引っ張っても破れない強いソリが出来ました。

“一度壊れたソリをどうやって修復し、乗れるようにするか？”ということを2人が考え、思ったことを言葉にして伝え合いながら繰り返し試していく姿は、主体的で対話的な姿であると感じました。教師との一対一の関係の中だけでなく、友達同士でそれぞれの考えを出し合い、自分の思ったことを試していく過程の中で、4歳児の“もっとおもしろく”が生まれるのではないかと考えました。質問を投げかけ、考えたり試したりする過程を見守りながらも、子どもが「出来た！」という達成感を感じられるように子どもの言葉を整理したり、時には手伝ったりする援助が必要だと思いました。

5歳児

「ソリの跡！？」 R2. 12/18



園庭にソリの跡（クリスマスの集い後に、園庭にソリの跡をつけ、白粉を振りかけておいた）を見つけたA児B児C児は「ソリの跡や！」「あの白い粉はなに？」「研究しよう！」と、普段の遊びの中でもつかっている顕微鏡をつかい、白い粉を見始めました。しかし、白い台の上に白い粉をのせていました為、見ることができませんでした。「見えへん！」「どうする？」と3人で考え、黒い画用紙にのせ、見てみると綺麗に見え「おみみたい！」と、白い粉の塊が、米粒のように見えたようでした。

「みんな！結果発表します！」と、顕微鏡で調べた結果を、友達に伝える姿が見られました。

そうしているうちに、白い粉の塊が崩れました。

「ちょっと待って！」と再度顕微鏡で見てみると、

きらきらと輝いているように見え「えー！！」「むっちゃ光ってる！」「これは、星のかけらやったんちゃう？」「うん、絶対そうや！」ときらきら輝く粉に心を動かしていました。

また、星というイメージから「どこから来た星か調べてみよう！」

と宇宙の図鑑を取り出し、調べる姿が見られました。

白い粉に興味をもち、今までの体験から顕微鏡をつかって調べようとする姿、思うようにいかなかった時に、諦めず友達と

考える姿、研究結果を友達に共有する姿は、主体的で対話的な姿だと考えました。

星というイメージから、宇宙を連想し、図鑑をつかって調べようとする姿は、深い学びへつながる姿だと思いました。

令和2年度研究主題

～「やってみたい！」から「もっとおもしろく！」につながる教師の援助や環境構成について考える～

子どもたちが夢中になって遊ぶ保育を創る

# 【健康状態確認書】

本日の来園にあたり、健康上の問題はありません。また、下記の確認事項を理解して来園します。

## 《確認事項》

2週間以内に以下のいずれかに該当する場合に関しては来園をご遠慮願います。

- 平熱を超える発熱
- 咳、喉の痛み
- 胸の痛み
- 味覚・嗅覚の異常
- 鼻水、鼻づまり
- 息苦しい
- 全身倦怠感
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- 同居家族や身近な方に感染が疑われた方がいる場合
- 14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

## 《感染症対策として》

- ☆「手洗い（手拭きタオルの持参）
- ☆手指アルコール消毒
- ☆咳エチケット
- ☆マスクの着用
- ☆上靴の持参

令和3年1月28日

ふりがな お名前	所 属	当日の体温 ℃

※提出していただいた確認書は保管期間後（提出後約1か月後）に、適切に処分いたします。